

神代道志子通

K110

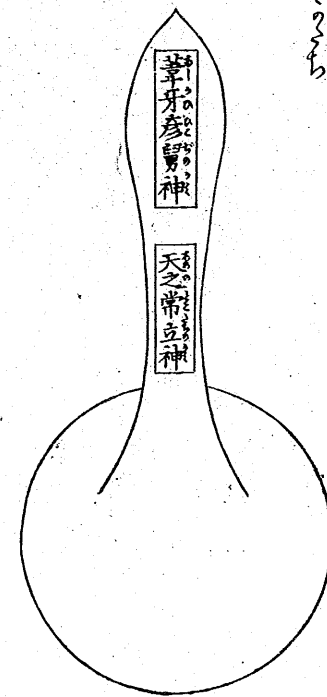
6.12

B 23

2927



前ホの月水月の如く漂つるの
中より形ち葦牙の如く崩騰
物小因りと此二柱の神成産せり
大御



彼葦牙の如く崩騰するの天原と
又漂つるの如く濁れる物下りて夜見の國と
ある時
伊弉諾

伊弉諾命

高天原

伊弉册の
二柱の神天の

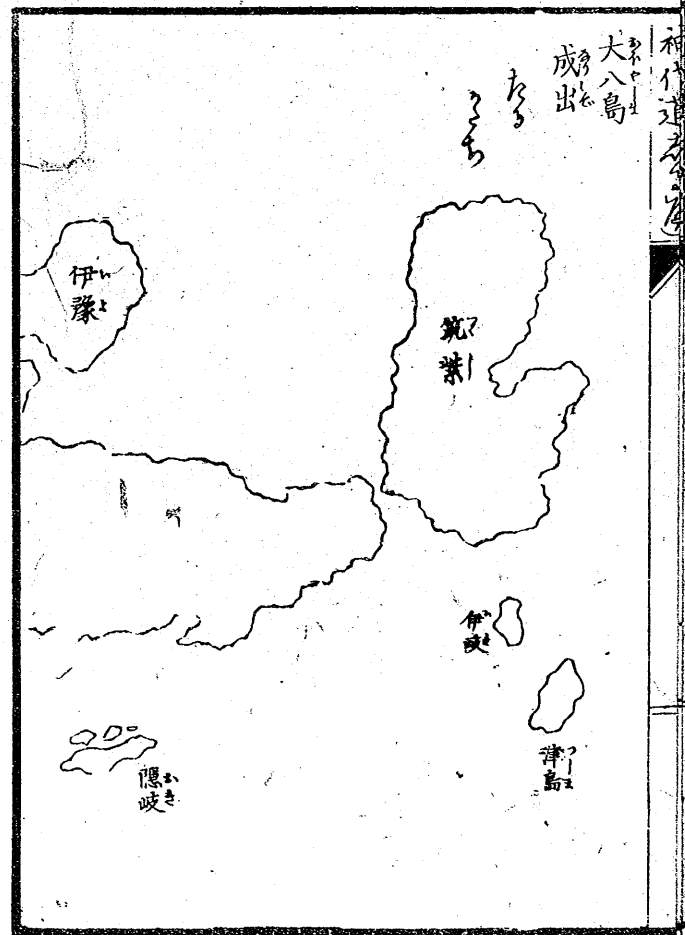
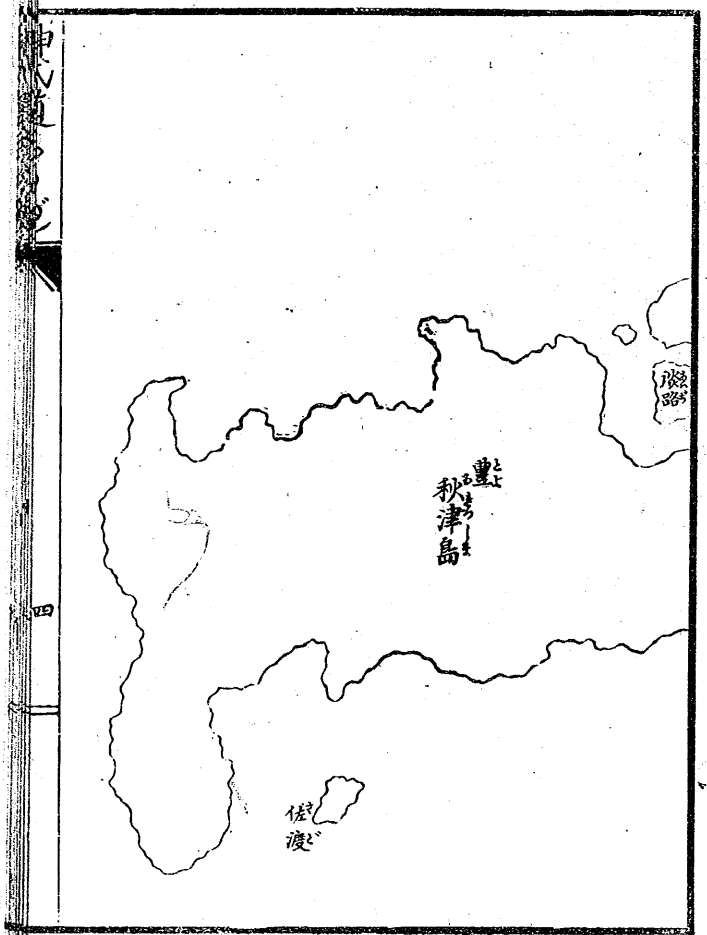
伊弉册命

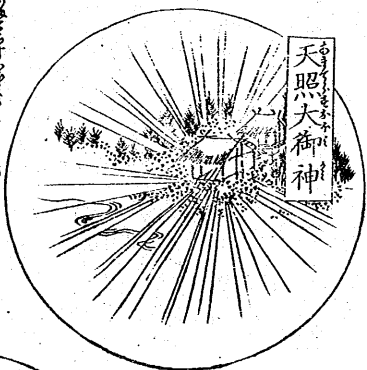
浮橋より立ぬ瓊牙と下りて漂る國を
造り堅めたる大御



此間の細き所を
天の浮橋と言ふ

夜見の
國と
是より





天照大御神へ此御國より
高天原へ登りて司らるる
月讀の命へ夜見の國へ
下りて司らるる大御國



海國

神代道志る道

かけするん宿も花

王代のまゝからさる大

震空より成る神の

水名を天之御中主乃
神とそふ次、高天原
日神神産巢日神の二
柱を串主の左右に
置

と解を雨乃清子の如造
化の首をさし、大元
本矣神、此時を地
程水月のおとす中。

二 八代通考卷之五
浮うきひ浮うぶ物ものの中うちより其その
形かたち第あ一い牙ぐはののとと能もえ得うる物もの
因よりて成なりたなりる神かみののれ
石いしとと筆ふで牙ぐは虎こ男お神かみ
ととままひ。

二 八代通考卷之五
次つぎ天あめ之の常とこ子こ神かみ以もつ二神かみ
生なるこれ是ま之の五い柱しらととままひ
左ひだりをを初はつ神かみとと別わかるる神かみと
初はつするを常とこ子こ國くに之の常とこ

多神次重之屋座神あ

王此柱ん獨神次字

花迹須江智迹神江角代男神

活代の神依意富斗能代男神

大斗乃舞江腔母陀琉男神

河志古泥の神次伊央能男神

伊特母乃神后そ神世女神

古代そそ武能母乃二柱女神

五の浮橋よりなるは、霞を
下して海に様も、潮に
流れて、あつまる。是を、霞の
基より、あつまる。故に、生島よ

五降く夫婦の根、初め
なるは、御子、御子を、生
る。さう、は、御子、不具
なるは、第、初、入、生、流

一乗に形をて大島の
國をよむ大島と淡路
島續いて伊豫に二島
伊岐の山も又筑紫島

伊岐島津島佐渡の島
豊後津島乃ハツ島伐
石をて大島の國とてふ
其外小島をよむ人を

神代卷
山川草木を生じ後より日
之神哉生る是を天照
大神神人又大日女命
言ひ此神光集り彩

しる天地を照る
高天原を治る大陽
界とを是より次より月之
神を生る是後月夜

見如命とんふ素戔鳴命
もそふ其先彩目より強ふ
たふ夜見の國を司らふ
潮乃二重我治めしむ

是を天陰界より始めふ
歩鳴をぬをこしなうを
治め志むるは
ひまらむ夜見國

神代卷
 適人と清の伊集羅乃
 神河也里すて應子
 國を逐ひつ素神の地天
 降る果の能をさるる

仍と天照大神天の石
 屋戸は隠るるまじ地既
 常闇となす友まじて
 百の神の神なる屋戸

のあふ集ひ。天の宇を臺の
成る。神態。乃まひひ
やまぜ萬の神威。お笑ふ
天照大神。神代怪しむ

石戸を。細目。丹のやの
あたま。天のま方。男とまへ
る神。戸よりまを掛け
お。開け。いづる。な。第

原^いの^ら中^あ國^つの^く照^てう^める^るま^ま

れ^らを^を萬^まの^の神^{かみ}速^{はや}の^の素^そ戔^た

鳴^な命^のを^を千^ち位^{くら}置^か戸^きを^を負^お

さ^さつ^つ神^{かみ}速^{はや}ひ^ひを^を速^{はや}ら^らひ

り^りひ^ひを^を斯^{かく}と^と素^そ神^{かみ}

天^{あめ}を^を逐^おひ^ひま^ま國^{くに}を^を傳^{つた}へ

す^すま^ま時^{とき}を^を丹^{あか}を^を降^ふり^りを^をひ

さ^さる^る能^よま^まる^る字^{なづ}を^をも^もを^を兼^あて^て

と。神速く留をこひ
ろ。躬行惡を逐は
し。神とて。酒借する神も
な。甚く雨降る風。けど。

更。休めん處らざうしが。
生。て。出。雲の國。記の川と
ま。あ。う。ろ。ふ。な。ま。の
老。妻。婦。童。女。紙。中。ふ

ちほり。命ありて
 仔細を問へば。や。夫のわ
 を。名。推。あ。る。ま。程。
 ひ。ま。め。る。格。名。田。比

賣。喚。う。ぐ。候。の。大。蛇。ふ
 喚。う。な。う。も。ほ。う
 し。ち。る。る。へ。う。を。素。神
 く。目。の。酒。を。磯。を。造

申上道

多智を味とて斬るは。
 そのを
 其尾の中うちの劔つるぎあり。是を
 天照大神あまてらすかみの秋あきと
 草薙くさなぎの太刀たちと

命ことを出生國よ。
 言造ことづくりり。橘たち名田なで
 比賣ひめを納いれり。八雲やぐらの
 所歌ところうた成住なりぞうり。仙せんと須賀すか

乃言^い之^の後^{のち}根^ねの國^{くに}よ
退^{まう}る^を依^よは命^{いのち}の^は
孫^{まご}の神^{かみ}を^か大^{おほ}に貴^{たが}ふ^を命^{いのち}と^もの^を
大國^{おほくに}と^も神^{かみ}と^もん^をと^も殊^{こと}り

勝^{かち}ま^をて^し神^{かみ}と^もよ。又^{また}神^{かみ}産^う
靈^{たま}神^{かみ}の^を子^こと^も少^{すく}彦^{ひこ}名^な神^{かみ}
と^もふ^を其^{その}後^{のち}宮^{みや}と^も少^{すく}と^も
所^{ところ}父^{ちち}神^{かみ}の^を子^こと^も主^{ぬし}の^を候^{さう}と^もり。

酒より程の伸るれど。
功の徳きし。あふまふ
大に安に。二程の神を
立。國土を作り隆あふ。
立。國土を作り隆あふ。

青人算のふみまて。酒を
療む。力を居め。又
獣昆虫。火。火。火。火。
あふ。林。林。林。林。

今更なるふら。今更
 まる二神。因。致
 蒙。ふら。因。致
 大神。神。子。為。極。耳。也。

今更なるふら。今更
 まる二神。因。致
 蒙。ふら。因。致
 大神。神。子。為。極。耳。也。

しる。まよひて大に安神。
 中國を主ぬ。持て自
 う。十俵。かろま。一
 子。此。其。事。以。治。め

多。今。出。る。國。大。社。
 鎮。た。ま。ふ。と。氏。神。
 ま。水。天。照。大。御。神。の。子。
 天。之。忍。穂。耳。尊。國。を。

降^ふる^る望^ぞと。沙^さ装^ま束^くを
 有^ある^るが^が同^{どう}子^し生^{せい}
 中^{ちゆう}名^なを^をい^いは^はす^する^る書^{しよ}
 尊^{そん}と^とい^いふ^ふ。仍^{いふ}と^とい^いふ^ふ。紙^し



互^りの^のき^き
 三^{さん}種^{しゆ}の^の神^{しん}器^き紙^し授^{さづ}け^けま^ま
 侍^ぢ神^{しん}五^ご柱^{ちゆう}を^をほ^ほぐ^ぐら^らむ^む
 中^{ちゆう}の^の互^りの^のき^きを^をい^いは^はす^する^る書^{しよ}
 天^{てん}女^{にょ}

神代卷 五
五命と輔弼の神と
是君臣の初めなり
朝政の機を成す
うに述ぶ神代卷の

神代卷 五
五位を離すハ多
所を分けて日向
國王傳す。皇統の
初めなり。皇統の

妹女をとも名なを木花きのはなの井い
耶や姫ひめ命いのち是こゝを要めと
事こと少すく遠とほ理り命いのちを生う
こゝろ人穂ひとほと見み命いのちと見み

言い此この命いのち兄いもうとの神かみ火か
照て命いのちと云いつる或あるに
兄いもうとと釣針つりざし易やす海うみと云い
事こと釣つりと云い魚うをと得え

釣つりて其針そのはりを海うみまき
ひきき兄いもうとの神かみ失うしなはる
針はりをさしひらさうあふ
うふ少すく老をり理のる所ところ佩をる

拳つ劍つを破やぶる中なかつに五百い
針はり仕しり千針ちはり仕しる僕わが
世よと為なるまゝ兄いもうとの神かみ
受けまゝ有ある針はり

責^{せめ}但^たら^らる^る女^をい^いて
第^{いち}の命^{いのち}海^{うみ}に^に出^でて^ては^はる^る
時^{とき}に^に鹽^{しほ}椎^{づい}の^の神^{かみ}に^に世^よ間^{かん}
勝^{かち}間^{かん}乃^も小^こ船^{ふね}に^に乗^{のり}せ^せ海^{うみ}

言^いふ^ふう^う送^{おく}る^る女^を海^{うみ}神^{かみ}
の^の女^を由^{よし}玉^{たま}に^に送^{おく}る^るに^に
あ^あら^らは^はる^る理^り命^{いのち}に^に神^{かみ}の^の
長^{なが}子^こ賀^かと^とう^うの^の海^{うみ}

言ふ事を事大概とて
のるゝとて失ふる針
紙得るひつ兄の神
らまれば照神を

悔ふは臣とて
まを吐折るん豊玉如を
姐とてひつ内子産
るん時臨波低

神代卷
産處を造らん。鵲の
羽をもて葺草と名を
いせ。葺ん人へさるよ。
生きたまふ衆卿子なる春。柳

神代卷
と鶉葺ん葺草。平君命と
とん申さる。始祖乃
神。此よりきて年を
経る事。如万歳。是。既

即ち此を人皇の初め
と神武天皇と云ふ。
是より百廿三代を経る。
今之皇帝よりまゝの道。

皇統一姓ありて不變なる。
あまたの天子の如く他
と但しその名を異邦
よは類何ものをも得る。

形を同ひむらじき筆
 面牆よりさすやけん
 ちそこの時代のわ
 ころき大伊國より生れし
 神代遺文

然きを入字の如き
 先皇國の道を與ふ
 しう漢土の書に渡り
 國の字をいへん
 神代遺文

有勢の賀紙かんぜんつるむ道と。
 実げは目めの怠慢おこもりを千日せんじちの
 悔くいなき臥待ふせを何年なんねんも
 吾同輩われどうはいの家いえの輩はい。今は可い

を安失やすしつせむ。勉つとめて習しゅう字じ
 を通とほ——せむ。

東京 樵山小室書



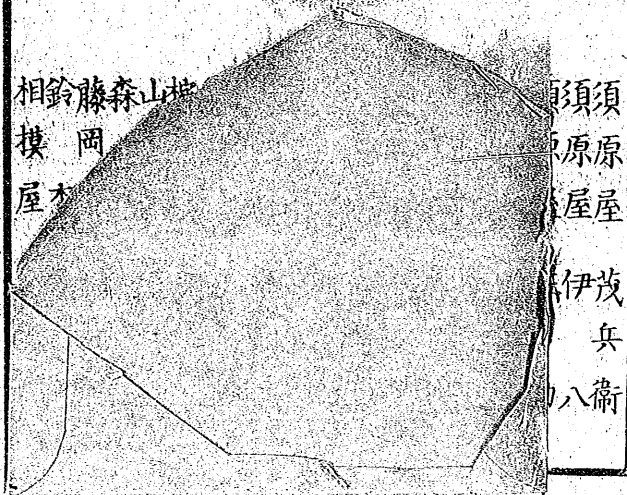
神代道志の通とほ

394
382
11389

江戸の町を
見る

蒙稟准新鐫

東京



相模
鈴岡
藤森
山本

須原
須原
伊茂
兵衛